



かしま友愛

第25号

2013年6月17日

社会福祉法人

加島友愛会事務局

大阪市淀川区加島1-60-36

☎ 06-6101-6601

理事会・評議員会開催される



五月二十六日(日) 加島友愛会の二〇一二年度第二回理事会・第一回評議員会が、理事・監事・相談役・評議員・施設長・本部事務局の出席で開催されました。

開会に先立ち平田理事長から「レインボープラン第一期の重点課題であった『介護付有料老人ホームリユミエール加島』が、職員スタッフ・

理事・評議員、周辺地区のみなさんの支援・協力により昨年にオープンした」と感謝の言葉がありました。つづいて、レインボープラン第二期について①社会福祉の海外交流・他地域への事業展開、②保育所運営・障害児支援・養護施設運営などの私案が提起されました。議長に市村評議員を選出し、西岡常務理事が二〇一二年度事業報告(二・三面)、櫻井副理事長が決算報告(別紙)を行い、定款変更・新事業など、熱心に討議され採決されました。



コラム

かしまの光

映画「リンカーン」を観た。米国で最も偉大な大統領ともいわれるリンカーンが南北戦争のさなか、奴隷解放のため憲法改正に政治生命を懸ける。改正を可決するために必要な「三分の二」以上の議員数を確保することに焦点があてられていた▼最近日本においても「三分の二」という数字がマスコミを賑わしている。夏におこなわれる参議院選挙で自民党の公約に改憲をあげ、その前提にある九十六条の「改憲に必要な衆参両議院三分の二」条項を「過半数」にするものである▼米国やドイツは現在も「三分の二条項」のもとで改憲がおこなわれている。敷居を下げることはたしていいことだろうか▼議員数の手続きではなく、「国民の過半数」の賛同も改憲に必要ななら、徹底した情報公開と一人でも多くの国民が参加できる仕組みが必要ではないか。

二〇一二年 加島友愛会事業報告概要

社会福祉レインボープラン十年計画

- ①介護付有料老人ホーム「リュミエール加島」新設
- ②淀川区西部地域包括支援センター運営
- ③障害者グループホームの移転および「トレフル」新設
- ④障害者就労継続支援A型「ル・プラス」事業
- ⑤福祉有償運送事業を第一期の課題として取り組んできました。

「リュミエール加島」は昨年四月に入居が始まり、五月には小規模多機能型居宅介護事業「ミニト」がオープンしました。淀川区西部地域包括支援センターも二年目で順調な事業展開をしています。



▶「トレフル」外観

本年四月には、「トレフル」内にホームヘルプセンター加寿苑・朱鷺を移転させ合同事務所を開設。グループホームに知的障害のある四人が入居しました。五月には、豊中市内に「リネン・ふとんリサイクル」の「ル・プラス」を開設し、定員二十人のところ八人でスタートしました。福祉有償運送事業については、

当面凍結することとしました。

第一期は以上のとおり完了し、十年計画の残る課題は保育・児童・人材育成となり、加島・三津屋地域での当法人の社会福祉事業の基盤は整いつつあります。

他方、加島・三津屋地域から大阪市内外に事業拡大する第二期の課題設定を目的に、東京都墨田区・練馬区、兵庫県三田市、岡山県倉敷市・岡山市の部落解放運動・行政議会関係者との交流や調査活動をしました。

高齢福祉部門

リュミエール加島は、理学療法士・鍼灸マッサージ師の常駐や二十四時間看護体制を整えるなど看護・介護スタッフの充実を図りました。オープン初年度は、稼働率八〇%の目標の達成をめざし現場スタッフは苦戦してきました。目的達成に至っていませんが、近隣住民の皆さんとは暖かい関係が醸成されつつあり、三年のうちには、地域での周知度も高まり、充実した看護・介護によるケアサービスの内容が評価されるでしょう。

加寿苑は、地域の高齢者福祉の「草分け」、中核としての役割を期待されています。特養のベット稼働率目標九五%には少し届いていません。しかしながら、内容的には急速に高まった短期入所（ショートステイ）要望の対応、初めて「看取り」の取り組みを実施したことは特筆できると考えます。

デイサービスは、地域の在宅介護事業として十

六年目を迎え、

利用者数に多少の微減があるものの、ケアの内容や相談業務に地域住民の皆さんの信頼をいただいています。

二年目となる地域包括支援センターは、地域の認知度も広まり順調に事業展開しました。

障害者福祉部門

「施設から地域生活への移行」を基本理念として、グループホームの整備とヘルパー・世話人的支援体制、障害者就労支援事業部（シヨブコイチ）をいち早く立ち上げ就労移行支援を展開し、障害者が地域で自立した生活ができるよう実践してきました。

自立生活や就労が困難な重度の障害者には手厚い支援ができるよう、アンダンテ加島施設入所支援、通所送迎体制を含めた生活介護・就労継続支援B型事業を整備してきました。

このように、都市社会の中に生活の場を、一般企業から隔された障害者だけの働く場ではなく、一般企業の中で健常労働者とともに働くことを追求してきました。

利用者の多くが自閉症であることから、自閉症支援が重要な課題としてあります。

この十年近くTEACHプログラムの実践のためスタッフの研修、施設や作業場面の環境整備に



▶三津屋商店街で出張相談会

努めてきました。各施設・事業は、自閉症支援の専門性を高め、個別支援計画にもとづいた支援をしてきました。

加島希望の家では、生活介護事業に五十四人が利用登録し、一日平均利用者数は四十三・四人でした。

近年、家族の高齢化にともなう介護力の低下と利用者の障害の重度化(平均障害程度区分五・二)が顕著になってきています。そこで、『むつみ』と連携した通所送迎を三コースに増やし実施してきました。延べ一万千六百二十二人の利用がありました。

アンダンテ加島では、施設入所支援・生活介護事業定員五十人のところ一日平均利用者数は、施設入所支援が四十七・八人で生活介護が四十九・一人でした。

短期入所事業は定員五人のところ、一日平均利用者数六・〇年間延べ二千百九十七人と二〇〇九年と比べると六百二十九人増加しており、家族の高齢化による介護力の低下を感じます。

かしま障害者センターでは、生活介護・就労支援事業(シヨブコーチ)・就労移行支援・就労継続支援B型・精神障害者地域活動支援および相談支援・ホームヘルプおよびガイドヘルプ・グループホームの事業を展開し、昨年十月からは豊中市から障がい者雇用促進モデル事業を新たに受託しました。言わば当法人の障害者福祉のセンター機能を担っています。

以上、各事業とも、利用実績・支援内容ともに昨年度より前進した成果をみています。

各施設・事業を利用された人の実利用人数は八百三十二人になり、うち加島・三津屋地域・淀川区居住の人は四百八十八人になります。稼働率は、リュミエール加島は初年度であり目

標達成に至りませんが、加寿苑入所部門が九三・七%、加島希望の家八六・三%、アンダンテ加島九五・五%、かしま障害者センターの「むつみ」は九五・二%、グループホーム九四・七%など高い実績がありました。

法人全体の事業収支と職員状況

収入では七・九二%増の十四億九百七十四万六千円、支出は十三億一千五百二十九万六千円とリュミエール加島など新規事業の開業運営費などのため一一・九六%の大幅な増加をみていますが、収支差額九千四百四十五万円(前年度比二八・一七%減)を確保しました。

資産合計は三十億九千三十七万円、負債合計八億四千三百一十二万円、差し引き純資産は二十億四千七百二十五万七千円という状況です。

この一年、退職した職員数は、本務・常勤嘱託・非常勤職員合計で六十四人でした。他方入職した職員数は八十二人で、本年五月の職員数は本務職員百四十八人、常勤嘱託職員四十三人、非常勤職員百七人になります。うち、地元雇用促進で五十六人が在籍し、六十歳以上の雇用、障害者雇用を積極的にこなっています。定期昇給を実施するとともに、キャリアパス構築を実現し、人事考課(評価)制度を実施し夏の賞与に適用しました。



新 グループホーム トレフル

オープン!

新年度に入り、新しいグループホーム「トレフル」がリュミエール加島の隣地に開所しました。

トレフルで生活を始めて2ヶ月、それぞれの入居者の生活スタイルもある程度定着してきました。はじめは世話人が声を掛けていたことも、今では時間になると自分で取り組まれるようになりました。仕事に出発する時間も帰所する時間もそれぞれ違うため、ホームの鍵は自分で管理し、施錠、開錠をしています。また残業で遅くなる時などは携帯電話を使ってトレフルに報告してくれる方もいます。

4人全員が同時に食事を摂れる日はあまりありませんが、同じ時間帯にテーブルを囲む際には、その時の献立に合った食器を一緒に考えて準備したり、次の日の予定を確認したりと、短い時間ながらリビングがコミュニケーションの場として成り立ってきています。

今後はできるだけ地域の活動にも参加していきたいと思しますので、よろしくお願いします。

加寿苑

ふれあいコンサートに出演



などもおこなってきました。

加寿苑は、九年前から「観る側」でなく「出る側」として参加。音楽クラブの皆さんが『加寿苑の歌』をはじめとして昔の流行歌や童謡を練習し、参加者の前で披露しています。

今回も一〇二歳のYさんを筆頭に平均年齢九十歳の八名の方が元気に出演し、会場から拍手喝采をあびました。

デイサービス
土曜日オープン

「土曜日も加寿苑に行けたらいいのに」という声にこえ、加寿苑のデイサービスが七月より土曜日オープンをします。

利用者の皆さんと会える日が増え、職員としても嬉しいかぎりです。これまで以上に「居心地のいい」空間づくりを心がけていきます。

これまで土曜日におこなってきた敬老会や新年会は、ふだんのデイサービスの中で実施することになります。

早いもので、昨年春の事業開始（介護付有料老人ホーム四月一日、小規模多機能型居宅介護五月一日）から一年を経過しました。

三月末、お花見にお隣の加島西公園までおもむきました。

もともとあった桜の木が三本、加えてオープン前に近隣町会と相談して法人が公園を整備して植えた桜が六本。六本の桜はまだ植えて一年なので、たくさんは咲いていませんでしたが、「来年が楽しみ」との声も聞かれ春をめぐる楽しいひと時でした。

西公園といえば町会の皆さんが毎週日曜日の朝、公園清掃をされています。リュミエール加島も六週に一回職員が参加しています。古新聞・段ボールの回



収められていて、とても助かっています。地域の皆さんとのつながりを大切に思っていますので、これからもよろしくおねがいします。

「ミント」という名前に
小規模多機能ホーム

小規模多機能型居宅介護事業は、介護の必要な高齢者が住み慣れた自宅や地域で、継続してその人らしい暮らしができるよう「通い」を中心として「訪問」や「泊まり」を組み合わせ、二十四時間を包括的に支える事業です。

介護付有料老人ホームとは異なる事業内容であることを知ってもらおうと、「ミント」という名前をつけました。

また、ご利用の対象地域は加島・三津屋が基本ですが、送迎が可能と思われるエリアにもご利用を呼びかけているところです。見学や通いサービスの体験利用について、お気軽にお問い合わせてください。

一年たちました

リュミエール加島

田植えに行ってきました



五月十八日(土)、滋賀県に恒例のJA東びわこの「ふれあい農園」田植え

ツアーに参加してきました。秋の稲刈りとあわせ加島の地域の方々や現地の生産農家の皆さんと一緒に楽しめる希望の家の恒例行事です。今年はずいぶん行われたこともあってか、いつもよりたくさんの方々が参加となりました。週の予報では天気が怪しまれていたのですが、当日はまるで初夏を思わせるほどの快晴でした。高速道路では思わぬ渋滞にあつてしまい、バスの車内では皆さん少々疲れ気味でしたが、現地についてバスを降りると青空と広々とした景色に迎えられ一気に元気を取り戻して田植えの準備にはいりました。

裸足になって、まだ冷たさの残る田んぼに足をいれると、久しぶりになんとも言えない感触が伝わってきます。利用者の皆さんも田んぼに入ると、足をとられてふらついたりと、あわてて職員にしがみついたり、あちらこちらでワイワイと声を上げて楽しんでいました。今年はずいぶん苗植えもあり、現地の方に「もっと深く掘ってね」「根っこがみえてるよ」と声かけられながら苗植えに夢中になっている人もいました。

田植えの後は、お待ちかねの懇親会。現地の方がカレーやうどん、焼きそばなど、たくさんの料理を用意してくれていました。皆さんよく動いた分、いっしょに食欲も旺盛でおいしい料理にお腹いっぱい。満足顔になっていました。その後の抽選会では今年も昨年に続き二等、三等を希望の家の利用者が選ばれ大盛り上がり、楽しい一日を過ごすことができました。

現地の皆さん本当にありがとうございました。また十月稲刈りにもお伺いします。その際はよろしくお願ひします。

【調理実習でホットケーキ作り】

毎週金曜日の午後に調理実習を行なっています。

「利用者さんに1週間の感覚を身につけてもらう、スタッフとともに集団の中で活動を行ってもらう」ということを目的にしていますが、共に楽しく調理体験をしてもらうことを大切にしています。

料理内容は、日中活動担当のスタッフと、管理栄養士が中心となり考えます。利用者さんが参加しやすい調理工程であること、好きな料理ということ念頭においています。また、料理を通して季節感を感じてもらえるように、各シーズンにあった料理を作っています。

今回は定番のホットケーキのアイス添えとコーヒーを作りました。利用者さんに料理工程が分かりやすいように、料理の工程を文字提示します。ホットケーキを混ぜることや、焼くことを最初はおっかなびっくり行っておられた皆さんも、回数を重ねるごとに料理工程にも慣れてきて、表情良く活動に参加される姿が印象的です。

調理実習を通じて「成功体験を積むことの重要性」ということを、利用者さんから教えていただいたと思います。

今後も、調理実習を通じて皆さんの生活が楽しくなるように、少しでも豊かになるように取り組みを行なっていきたいと思ひます。



四月からアンダンテ加島もブログを開設しました。ブログではアンダンテ加島の活動や福祉を巡るニュースを紹介しています。「日中活動」グループの活動を、ブログ記事により紹介します。

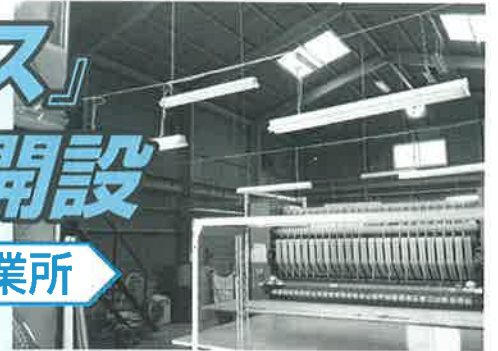


ブログを開設しました

アンダンテ加島

『ル・プラス』開設

初めてのA型事業所



豊中市より指定を受け、5月11日より、豊中市上津島1丁目で就労継続支援A型事業を開所する運びとなりました。定員は20名で、事業所名は「ル・プラス」です。豊中市内では初めてのA型事業所になります。

就労継続支援A型（雇用型）事業所については、厚生労働省ホームページに「企業等に就労することが困難な者につき、雇用契約に基づき、継続的に就労することが可能な65歳未満の者下記の対象者に対し、生産活動その他の活動の機会の提供、その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他の必要な支援を行います。」と記述されています。

ル・プラス利用者の方は、就労継続支援A型事業の利用契約に加えて、当法人と雇用契約を結んで仕事をさせていただくこととなります。もちろん社会保険にも加入し、給与も交通費も規程どおり支払する契約です。

まずはふとん・タオルの仕事から

今年度A型事業所を開設するにあたっては、「いったい何を業務として行うのか」が大きな課題でありました。その精査と基盤づくりも兼ねて昨年度の十月より、かしま障害者センターの障害者就労支援事業部が豊中市緊急雇用事業として「平成二十四年地域人材育成事業・ふと

ん類リサイクルを活用した障がい者雇用促進モデル事業」を受託しました。

事業の内容は、豊中市内のふとん専門クリーニング工場の一角をお借りして、廃棄されるふとん類を回収して洗浄、滅菌を行い、中材（綿）を取り出して二次製品の製作工程でリサイク

ルされるというものです。リサイクル二次製品としてのクッションや長座布団などはすでにホームセンターなどに並んでいるものもあります。障害のある業務スタッフを十四名と支援スタッフ五名で事業を実施していました。

そうしてリサイクルの事業を進めながら、並行してクリーニング業務全般のノウハウを工場の方からご教授いただいてA型事業所設置に向けた準備を進めてきたところです。

緊急雇用事業に応募してきた



「やらに前に進んで」の意味を込めて

ル・プラス (Re:Plus) は造語です。『やらに前に進んで、どんどん頑張っていきましょう』という意味を込めています。ここでは障害のあるスタッフも、

人たちは、それぞれが働くことについての自信や体力の向上について目標をもって取り組んでおられました。最初は週に二、三日の出勤で半日だけの勤務をしていた人も、体調や仕事内容を支援スタッフと相談する中で、今では週五日、一日六時間程の業務ができるようになってきました。今回、開所時の業務スタッフとして来られる障害のある方たちは、そのほとんどの人が昨年度の緊急雇用事業からのステップアップになりますので、すでに職場に慣れて、業務内容や雰囲気、就労生活のリズムも安定しています。

ル・プラスでは、まずはふとん類やタオル、病院向け入院衣等の仕上げを業務の中心にしてスタートします。その他にも隣接する外部事業所の工場に出向して洗濯業務を行うことも予定しています。

その方たちを支援するスタッフも加島友愛会の職員です。職員一同より良い職場にすべく頑張ってくださいますので、支援をお願いいたします。(市村賢一)

お知らせ

かしま障害者センター

夕涼み会

7月27日(土) 17時

加寿苑

夏まつり

8月17日(土) 17時



第4回実践交流会のご案内



加島友愛会の第四回現場実践交流会を、八月三日(土)午後一時三十分より市民交流センター・よどがわで開催します。

この交流会は、「法人内外の交流の促進」「発表者の力量アップ」「各施設の取り組みのアピール」を目的におこなわれるものです。

今回は各施設より五本の発表を予定しています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(参加無料、申し込みは法人本部へ)

❖ 加島友愛会後援会 ❖

後援会にご加入いただき、ありがとうございます。紙面をお借りしてあつく御礼申し上げます。会費の2012年度の納入状況をお知らせします。今年度もよろしくご協力をお願いします。

後援会加入状況	団体	18団体	22口	220,000円	
	個人	151人	177口	533,000円	合計 753,000円

参考 (2011年度納入状況)

団体	18団体	24口	240,000円
個人	146人	170口	510,000円
		合計	750,000円



◀夕涼み会の舞台も後援会の支援で購入

引き続き、加島友愛会後援会をよろしくお願いいたします。

* 見学会のご案内 *

開催日 **7月19日(金)~21日(日)**
時間 **10:00~16:00**

- △見学(居室・食堂・機能訓練室・岩風呂・ひのき風呂)
- △介護ミニ講座
- △マッサージ体験、ランチ試食(無料・要予約)

** 今後の見学会予定 **

8月16日(金) 17日(土) 18日(日)
9月13日(金) 14日(土) 15日(日)

ご予約・お問い合わせ・ご相談

フリーダイヤル 0120-087-322
リュミエール加島
大阪市淀川区加島4-16-35

見学会開催日以外の見学も随時受け付けています。
ご予約ください。

リュミエール加島では…

岩風呂・ひのき風呂で温泉気分での入浴
専属理学療法士によるリハビリ
専属鍼灸マッサージ師のマッサージ・鍼灸
滋賀産直の低農薬有機栽培米のごはん

…等々充実したサービスを提案しております♪
詳細はご見学時に説明させていただきます。



リュミエール加島

介護付有料老人ホーム

小規模多機能ホーム ミント



ご利用料金

介護付有料老人ホーム

Aタイプ(約45㎡)	入居一時金	4,000,000円
	キッチン・ユニットバス装備	
	月額利用料	248,600円

※好評につき満室

Bタイプ(約20㎡)	入居一時金	1,800,000円
	月額利用料	136,800円

※月額利用料には家賃、管理費(居室の光熱水費含む)、食事代・リネン代(Aタイプは2人入居、A・Bタイプとも30日で計算)が含まれます。

※介護保険自己負担分等は別途

小規模多機能ホーム ミント

(デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプ)

- ・宿泊代
一泊2,000円 リネン代 1セット105円
- ・食事代
朝食/200円 昼食/600円 夕食/600円

※介護保険自己負担分等は別途

体験利用受付中

介護付有料老人ホーム	一泊/5,000円
	(5泊6日まで可能)
ミントデイサービス	昼食・おやつ/700円

インターネットで検索 リュミエール加島

「オアシスナビ」「リュミエール加島のブログ」がご覧になれます。

JR東西線加島駅下車北へ徒歩8分
梅田・十三より市バス97号「神崎橋」「加島駅」行き
阪急バス「加島駅」行き「加島西(加島3丁目)」で下車徒歩3分

